

# GLOBAL MAPPING NEWSLETTER

## 第11号

### 内容

1. 地球地図についての私の見解
2. 地球地図国際運営委員会第5回会合がオーストラリアのキャンベラで開催される
3. 第3回全地球空間データ基盤会議(GSDI3)
4. 環境地図コースの感想
5. 地球地図の見本
6. 地球地図及び関連の会合予定

### 地球地図についての私の見解

大韓民国国土地理院院長 キム・ウォンイク博士

私は第二次世界大戦中に生まれ、朝鮮戦争のさなかに子供時代を過ごした。その頃は生きるだけで精一杯で、自分が混乱のなかをどのように生き延びたか想像を絶するものがある。振り返ると、私の世界観は狭く、自分自身の満足だけに限られていた。

戦後、社会の再建が始まるにつれて、私はより外へと焦点をあてることができた。まず、私の関心は私自身と私の家族にあてられ、続いて、隣人や近所へと向かった。最終的に、私は自国や世界に対して強い関心を持つようになった。

測量・地図作成の分野に携わってはいるが、私は、開発途上国が期待をかけているであろう近隣諸国や世界の測量・地図作成についての関心、そういう点にあまり注意を払わなかった。

地球地図国際運営委員会が最初に設立された時に、私は当初から運営委員会の委員に迎えられた。委員会に迎えられたことは私にとって名誉ではあったが、自分がどのくらい委員会に貢献できるか気がかりであった。

運営委員会やフォーラムに続けて何回か参加しているうちに、私は自分が貢献できそうな役割や地球地図が世界的に共通の利益をもたらすことについて十分に理解し、これらの理由によって、地球地図に引き続き参加することを決心した。

私たちは、私たちの世代や次の世代のために世界の環境を維持する責任がある。地球地図がこの重要な目的を達成するためにきわめて重大な役割を果たすことを十分に理解し、世界のすべての国々はこの会合に参加すべきである。地球地図によって世界が汚れない安全な環境というひとつの傘のもとに集まることができるであろう。

私たちは、相互の繁栄を得るために、真剣に努力して地球地図に未参加の国々に参加を呼びかけなければならない。

地球地図の今後の計り知れない成功を祈る。

### 地球地図国際運営委員会第5回会合がオーストラリアのキャンベラで開催される

地球地図国際運営委員会第5回会合が11月20日にオーストラリアのキャンベラのハイアットホテルで開催される。本会合は第3回全地球空間データ基盤会議(GSDI3)の直後に開催される。地球地図は全地球空間データ基盤の枠組みデータとして重要な部分を占めるので、GSDI3では地球地図が広範囲に討議されるであろう。

本会合は、前回の会合からわずか5ヶ月後に開催されるが、地球地図仕様の確定のために非常に重要である。地球地図プロジェクトは現在、初期の実施段階にあるので、仕様に加えて、データ政策、データセット作成のガイドライン等、数多くの討議事項がある。

詳しくは、ISCGMのホームページ(URL <http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec/>)を参照するか、事務局まで連絡をください。

### 第3回全地球空間データ基盤会議 (GSDI3)

第3回全地球空間データ基盤会議 (GSDI3)は1998年11月17日～19日までオーストラリアのキャンベラで開催される。GSDI3会議に先立ち、1996年にドイツのボン、1977年に米国ノースカロライナ州チャペルヒルで盛大なGSDI会議が行われた。アジア太平洋地域GIS基盤常置委員会 (PCGAIP)が今回の会議の主催者である。

GSDI3のテーマは、“GSDIのための政策、組織的枠組み”である。

会議のプログラムには政府や非政府の機関、財界、技術提供者、産業界、大学、研究界、利用機関の著名な専門家の招待講演が含まれる。これらの発表では国土空間データ基盤の実施の現状、地域や地球規模のプログラム、研究開発の進歩、GSDIの利用について述べられる。それぞれの発表には、政策、組織の問題についての発表者の意見が含まれる。

参加者がGSDIの実施に最も適切な政策、組織的枠組みについて討議を行うために、会議期間中にかなりの時間がさかれる。最終セッションはGSDIを推進するための決議の採択に充てられる。

GSDI3が開催される週にキャンベラではさらに2つの重要な会議が行われる予定である。PCGIAP理事会会合が11月16日、地球地図国際運営委員会第5回会合が1998年11月20日に開催される。さらに、GSDI3が開催される週の前後にそれぞれローンセストンとパースで、オーストラリア測量士協会 (ISA)とオーストララシア(オーストラリア・ニュージーランドと近隣諸島)都市及び地域情報システム協会(AURISA)の年次総会が開催される。

GSDI3と関連行事についての詳細は下記の会議ホームページに掲載されている。

<http://www.permcom.apgis.gov.au/gsd3/index.htm>

PCGIPとGSDIの運営委員会の委員は、オーストラリアのキャンベラに代表団を迎え、GSDI3を全地球空間データの画期的な行事にすることを楽しみにしている。

オーストラリア測量土地情報局  
ボブ・アーウィン

### 環境地図コースの感想



国際協力事業団(JICA)が国土地理院の協力で主催する1998年環境地図コースが終わろうとしている、この状況は、私たちの仕事が今始まろうとしているという思いをもたらしている。

10週間の講義、実習、現地調査や関連機関を訪問する研修旅行を終えて、我々の地球について、地球地図を作成することが何を意味するか実際の状況を理解することができた。意思決定者は、環境への理解をさらに深め、利用可能な道具と情報についての知識を増やすことにより、現在やこれからの地球規模や地域の問題への対応を改善することができる。

講義で取り上げられたテーマによって、地球地図を、情報収集、処理、地図作成(地理情報システム-GIS,リモートセンシング-RS, 画像処理や数値地図など)についての最新の進歩的な技術や、私たちの環境についての最も関連性のある状況や変化、問題に結びつけることができた。

このコースの最大の功績は、国土地理院の職員や外部講師の方々の努力によるものである。その努力により私

たちが地球地図の重要性について理解し、森林伐採、地球温暖化、オゾン層の破壊、温室効果ガスなどの環境問題について意識を高めることができた。

環境地図研修コースの成功は、より多くの機関や個人の参加や協力とともに、地球社会での需要が増大するに従い複雑な現象をより効率的に監視、解析、シミュレーションするためにハードウェア、ソフトウェア、データベースについて新しい進歩した技術的を永久的にとり入れて行くことにかかっている。

つくば、1998年8月2日

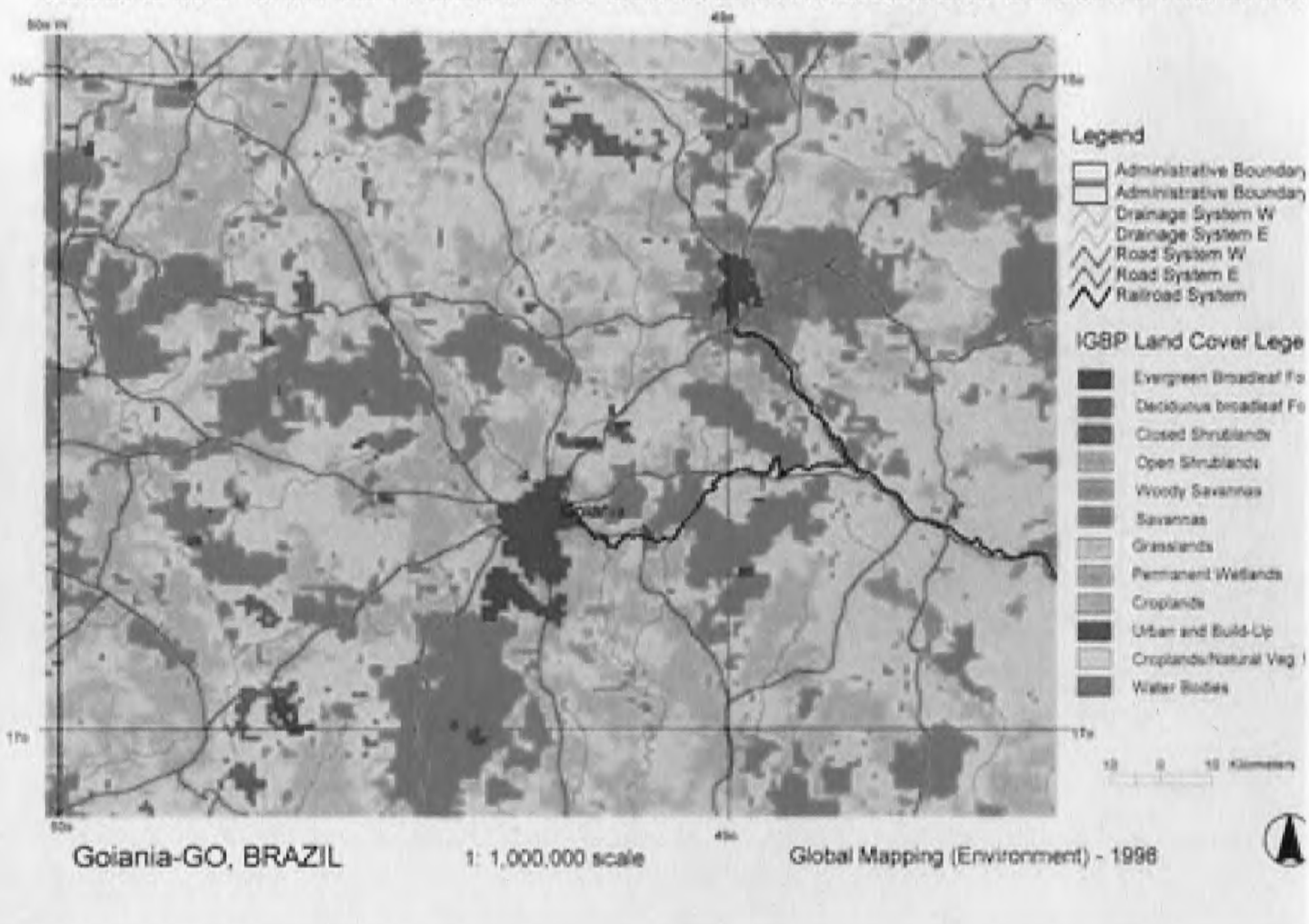
'98年環境地図コース

IBGE - BRAZIL (ブラジル地理統計庁)

テレサ・クリスティーナ・ベイガ

## 地球地図の見本

### GLOBAL MAP SAMPLE PRODUCTION USING EXISTING GLOBAL GEOGRAPHIC DATA



地球地図の内容を視覚化することは、地球地図がどのように見えるかについて相互に理解するために有効である。

この図はJICAが国土地理院の協力で主催する環境地図研修コースの研修員が行った技術研究の成果のひとつである。

この技術研究の目的は、本来、地球地図が既存の地理データからどのように統合されるかを実証することであるが、成果は地球地図について相互に理解し、地球地図の基礎データとして利用する予定の既存のデータの質を確認するためにも有益のようである。

地球地図の見本画像は、この図を含めて地球地図のホームページ(<http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec>)に掲載予定である。

---

## 地球地図及び関連の会合予定

以下は地球地図及び関連の会合予定です。“?”マークの会合は未確定です。

### 1998年

- ・11月17日～19日、オーストラリア、キャンベラ  
PCGIAP主催第3回GSDI会議  
<http://www.percom/apgis.gov.au/gsdi3/con-info.htm>
- ・11月20日、オーストラリア、キャンベラ  
第5回ISCGM会合  
<http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec>

### 1999年

- ・3月4日～5日、オーストリア、ウィーン  
第8回ISO/TC211本会議
- ・4月19日～23日、中国、北京  
第5回PCGIAP会議
- ・7月19日～23日、英国、ケンブリッジ  
ケンブリッジ会議
- ・8月14日～21日、カナダ、オタワ  
第19回国際地図学会議  
<http://www.ccrs.nrcan.gc.ca/ica1999/>
- ・9月29日～30日、日本、京都  
第9回ISO/TC211本会議
- ・9月/10月、米国 ワシントンDC  
ナショナルジオグラフィック協会主催  
新しい世紀の地図作成?

### 2000年

- ・7月16日～23日、オランダ、アムステルダム  
ISPRS 2000

---

[本号のニュースレターの先頭 に戻る](#)

---

[地球地図ニュースレター目次 に戻る](#)

---

URL:[http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec/news/ns\\_lttr\\_jpn-11.html](http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec/news/ns_lttr_jpn-11.html)  
Any comments or requests are appreciated.

*Last modified: September 10, 1999*